

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.3</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.4</b>	0.15	-	-			<b>1.4</b>
1.1 騒音		<b>2.0</b>	0.40	-	-			
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-			
2 界壁遮音性能		<b>1.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.7</b>	0.35	-	-			<b>1.7</b>
2.1 室温制御		<b>2.0</b>	0.50	-	-			
1 室温		<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	-			
2 外皮性能		<b>2.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
3 ゾーン別制御性		<b>1.0</b>	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		<b>2.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	-	-			<b>2.3</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率2.0%以上確保	<b>4.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-			
2 方位別開口		-	-	<b>5.0</b>	-			
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-			
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
3.3 照度		<b>1.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.4</b>	0.25	-	-			<b>2.4</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>2.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 自然換気性能		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
4.3 運用管理		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>1.0</b>	1.00	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>1.7</b>	0.40	-	-			<b>1.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>1.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 高度情報通信設備対応		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
3 バリアフリー計画		<b>1.0</b>	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.3</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		<b>1.0</b>	0.33	<b>3.0</b>	-			
2 リフレッシュスペース		<b>2.0</b>	0.33	-	-			
3 内装計画		<b>1.0</b>	0.33	-	-			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.3</b>	0.30	-	-			<b>3.3</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	外壁:断熱材入り鋼製サンドイッチパネル(塗装品)	<b>5.0</b>	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、汚水排水VP(B)、通気VP(A)、Eは不使用	<b>5.0</b>	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	屋外キュービクル、空冷式ハック-ジ型空調機、消火ポンプ、受水槽にて評価	<b>4.0</b>	0.20	-	-			

2.4 信頼性			3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備	電話・LAN設備の設置・精密機械の地下空間への設置を避けている。		5.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	3.9m以上		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.111		4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり	床用積載荷重6,000N/m <sup>2</sup>		5.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			2.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮・快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI <sub>m</sub> =0.65		4.0	0.01	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.93 住宅(専有部) -		3.0	0.62	-	-	3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)			3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.25	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	自動水栓に加えて、省水型便器を採用		4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床材		3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用		4.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.0	0.20	-	-	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用	PRTR法の対象物質を含有しない建材種別が1つある		4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量=96%		3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	指導された規模を満たし、かつそれ以上の雨水処理対策を実施		4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。広告物照明を行っていない。		5.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	